

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年11月26日

【2018年11月17日～2018年11月23日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。

足元ではボルソナロ新政権の発足を控えて閣僚人事の報道が続いています。これまで経済相や中央銀行総裁など経済関連のポストには、マーケットフレンドリーな人選が行われてきましたが、ボルソナロ次期大統領が年内の年金改革に対して悲観的な見解を示したことから、政策の実現に不透明感が漂い、為替市場は軟調となりました。

経済指標に関しては11月の消費者物価指数(IPCA-15)が発表されました。前月比・前年比共にインフレ率は低下し、市場予想も下回りました。また、11月の消費者信頼感指数は5カ月連続の上昇、約5年ぶりの高水準となり、消費者の景気回復への信頼感が回復していることを示す結果となりました。

【2】今週の見通し

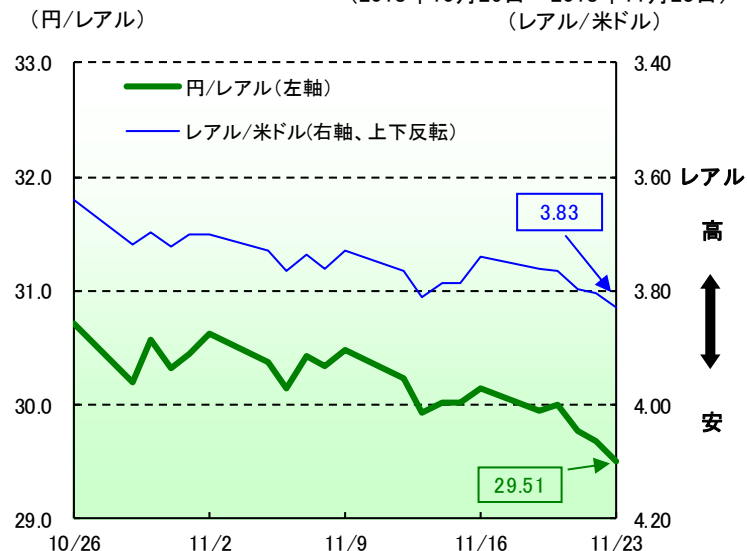
今週は、GDP(国内総生産)などの経済指標の発表が予定されています。

ロレンゾーニ次期官房長官が今週中に残りの次期政権の閣僚を発表する旨を示したことから、引き続き閣僚人事に注目が集まりそうです。ただし、経済関連のポストは既に発表されており、その反応も織り込まれていることから、大きな材料にはならないと考えます。

閣僚人事終了後の見通しについては、年金改革が来年になる可能性が高いことなどからブラジル国内の材料は乏しく、サプライズがない限り年内は米金利や米ドルなどの外部要因にブラジル・レアルが左右される展開が続くと考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年10月26日～2018年11月23日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年10月26日～2018年11月23日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>